

平成29年度実施施策に係る政策評価書

(内閣府29-54(政策17-施策①))

政策名	迎賓施設の適切な運営					
施策名	迎賓施設の適切な運営					
達成すべき目標	「観光先進国」実現のため、迎賓館の「一般公開」及び「特別開館」を実施し、迎賓施設への理解を促進する。					
施策の概要	【施策の概要】 国の迎賓施設として、海外の賓客に対し安全・快適な施設の提供が出来るよう迎賓施設の管理・運営を行う。 また、「迎賓館の公開・開放」は安倍内閣の掲げる重要施策である「観光先進国」のうち、「公的施設の公開・開放」においてシンボリック的意味合いを持つことから観光の呼び水としての役割を果たすため、接遇に支障のない範囲で可能な限り通年で一般公開を実施するとともに、迎賓館の貸出を行う「特別開館」を実施する。					
	【平成29年度に実施した具体的取組】 ○平成28年度に引き続き、接遇等に支障のない範囲で可能な限り通年で一般公開を実施し、赤坂迎賓館では249日、京都迎賓館では243日間公開した(平成28年度の公開実施日数は、赤坂187日間、京都125日間)。 ○一般公開の更なる魅力向上を図るため、季節等に応じた特別企画等を実施し、満足度の向上を図った。 ○赤坂迎賓館、京都迎賓館ともに特別開館の要綱等を整備し、特別開館HPへ掲載した。 ○特別開館を赤坂迎賓館で4件実施した。					
施策の予算額・執行額 (単位:百万円)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の 状況	当初予算(a)	31	297	1,122	1,145
		補正予算(b)	-	945	-	
		繰越し等(c)	-	-100	100	
		合計(a+b+c)	31	1,142	1,222	
執行額	42	852	1,091			
施策に係る内閣の重要政策 (施政方針演説等のうち主なもの)	「明日の日本を支える観光ビジョン」(平成28年3月30日明日の日本を支える観光ビジョン構想会議決定) 観光立国推進基本計画(平成29年3月28日閣議決定)					

測定指標	定量的指標	1. 迎賓館赤坂離宮の一般公開における一日当たり参観者数の平均	基準値	目標値	年度ごとの目標値					達成状況		
			28年度	29年度	年度ごとの実績値							
			28年度	29年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度			
			4,092	4,000	-	-	-	-	4,000	2,220	未達成	
		2. 京都迎賓館の一般公開における一日当たり参観者数の平均	[自由参観方式] 1,064 [ガイドツアー方式] 615	[自由参観方式] 2,000 [ガイドツアー方式] 750	-	-	-	-	[自由参観方式] 1,064 [ガイドツアー方式] 615	[自由参観方式] 2,000 [ガイドツアー方式] 750	未達成	
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		3. 迎賓館赤坂離宮一般公開における参観者のうち、アンケートで「やや不満、不満」と答えた人の割合	2.8%	10%以下	-	-	-	10%以下	10%以下	2.8%	2.9%	達成
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		4. 京都迎賓館一般公開における参観者のうち、アンケートで「やや不満、不満」と答えた人の割合	4.2%	10%以下	-	-	-	10%以下	10%以下	4.2%	3.6%	達成
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		5. 特別開館HPの閲覧数	60,100	前年度以上	-	-	-	-	-	前年度以上	36,992	未達成
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

参考指標	1. 迎賓館赤坂離宮の一般公開HPの閲覧数	実績値				
		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		-	-	360,000	5,100,000	1,600,000
	2. 京都迎賓館の一般公開HPの閲覧数	実績値				
		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		-	-	5,750	1,020,000	589,000

参考指標	3.「待遇」に関するHPの閲覧数	実績値				
		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		—	4,000	2,500	3,400	1,360

評価結果	目標達成度合いの測定結果	(各行政機関共通区分) C 進展が大きくない (判断根拠) 測定指標3、4の項目については、目標を十分達成しているが、測定指標1、2、5については、目標値を達成していないため、上記判断とした。
	施策の分析	<p>【測定指標の観点からの分析】</p> <p>○測定指標1、2については目標未達成となった。 ・参観実施日数が前年度に比べ多くなり参観者が分散したことや、通年公開2年目となり、整理券や事前予約なしで、いつでも参観できるレベルまで参観者数が落ち着いてきたことが主な要因と考えられる。</p> <p>○測定指標3、4については目標を達成した。 ・参観者のニーズの高いガーデンカフェや体験型企画のような季節等に応じた特別企画等を定期的実施したことが主な要因として考えられる。</p> <p>○測定指標5については目標未達成となった。 ・前年度は特別開館初年度で対象にならないようなものも含め問合せが多く寄せられた。今年度は事例の積重ねとHPの記載内容の精査等により、利用要件等の認知が高まったことが要因と考えられる。</p> <p>【外部要因等事前に想定できなかったことにより実績に与えた影響】 待遇日程の急な変更により、一般公開を中止した場合や十分な広報期間を確保できないまま実施した場合は、参観者数に大きな影響を与えることから、原則1か月前までの待遇日程の確定ルールについて周知徹底してまいりたい。</p>
	次期目標等への反映の方向性	<p>【次期の施策の方向性について】 引き続き、来年度以降も本施策を継続する。一般公開においては、観光立国の実現に資するよう、更なるニーズの把握に努め、参観者の満足度向上、リピーターや外国人観光客の増加に向けた取組を進める。また、迎賓館の貸出を行う「特別開館」についても、引き続き実施事例の積み重ねに努める。</p> <p>【次期の測定指標の考え方について】 ○測定指標1、2については、目標の設定を見直す。 ・平成28年度実績値を目標値としているが、この年度は整理券や事前予約がなければ参観できず、館内は大変な混雑で参観環境が好ましくなかった。平成29年度は整理券や事前予約なしで、いつでも参観できる環境になったことを踏まえ、目標値を平成29年度の実績値に変更する。 ○測定指標3、4、5については、引き続き目標の達成に努めることとする。 ・これまで順調に実績が推移しているため、測定指標3、4、5は妥当であると考えられ、引き続き参観者のニーズに応じた一般参観や特別開館HPのユーザーへの分かりやすい情報提供を着実に推進してまいりたい。</p> <p>【根拠とした統計・データ等】</p>

学識経験を有する者の知見の活用	
-----------------	--

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	通年公開(赤坂、京都)の不满割合:アンケート結果
---------------------------	--------------------------

担当部局名	迎賓館	作成責任者名	井上 秀敏運営課長 西牧 則和運営課長 (京都事務所)	政策評価実施時期	平成30年8月
-------	-----	--------	-----------------------------------	----------	---------